

平成 29 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社インフォメーション・ディベロップメント
代表者名 代表取締役社長 船越 真樹
(コード：4709 東証第1部)
問合せ先 社長室長 中谷 昌義
(TEL.03-3262-5177)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、取締役会の機能向上を図るため、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、2016 年度の実効性に関する分析・評価を行いましたので、その概要を以下のとおり開示いたします。

記

1. 評価の方法

各取締役・監査役全員（10名）に対して自己評価の趣旨ならびに結果の取り扱いについて説明のうえ、以下の項目に関する質問票（5段階評価および自由記載欄を設定）を配布し、無記名方式により実施しました。また、その回答結果を踏まえ、取締役会の実効性に関して第三者の視点も含めた分析・評価を行いました。

<質問票の項目>

- (1) 取締役会の役割・機能
- (2) 取締役会の構成・規模
- (3) 取締役会の運営
- (4) 監査機関との連携
- (5) 経営陣とのコミュニケーション
- (6) 株主・投資家との関係

2. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、上記質問票の項目のうち、「(2) 取締役会の構成・規模」、「(3) 取締役会の運営」、「(4) 監査機関との連携」、「(5) 経営陣とのコミュニケーション」、「(6) 株主・投資家との関係」について、取締役会の実効性が十分に確保されていると評価しました。

また、「(1) 取締役会の役割・機能」について、昨年課題認識したリスク管理体制の整備・運用や、リスクおよびコンプライアンス問題への対応については一定の改善もみられ、取締役会の実効性は確保されていると評価しましたが、取締役候補者の指名に関する方針などにつき、さらなる改善が必要であることを確認しました。

3. 上記分析・評価結果を踏まえた今後の課題およびその対応

当社取締役会は、上記分析・評価結果を受け、昨今の外部環境の変化や投資家からの要請を踏まえた、取締役候補者の指名のあり方に関する取締役会における議論、指名報酬委員会の運営の見直し等を通じ、取締役会の実効性確保に、よりいっそう努めてまいります。

以 上